

小学校 第5学年「国語科」シラバス

国語科の領域構成

次の3領域1事項です

- 話すこと・聞くこと
- 書くこと
- 読むこと
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

5年生の目標

- 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

★評価の観点

- ①「国語への関心・意欲・態度」
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。
→行動観察・ノート・ワークシート
- ②「話す・聞く能力」
目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。
→スピーチ・発表・聞き取りメモ 等
- ③「書く能力」
目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書いている。
→作文・ワークシート・テスト 等
- ④「読む能力」
目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいる。
→ワークシート・音読・テスト 等
- ⑤「言語についての知識・理解・技能」
伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。
→音読・漢字テスト・テスト・毛筆作品・ノート

	学習する単元の名称	主な学習内容
前 期	1. 自分の思いが伝わるように声に出して読もう ・だいじょうぶ だいじょうぶ □メモを使って題材を探そう ☆文の組み立てに気をつけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、声に出して読みます。 ・連想によって言葉を広げ、書く題材を探します。 ・言葉の係り受けに理解を深め、意味が正確に伝わる文を書くことの大切さを知ります。 ・文章の構成を考えながら、要旨を読み取ります。
	2. 文章の構成を考えながら要旨を読み取ろう ・動物の体と気候 □ゲストティーチャーをすいせんしよう ☆漢字の由来に関心を持とう	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を明確にして、人物を推薦するための話をします。 ・漢字の由来について知り、漢字の四つの成り立ちを理解します。 ・「設定」「展開」「山場」「結末」の部分を確認して、物語の構成をとらえます。 ・ふさわしい理由を挙げて意見を述べているか、考えながら聞きます。 ・二字熟語について、語の構成から意味を推測できることを知り、その方法を理解します。 ・二つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取ります。
	3. 物語の構成に気をつけて読もう ・世界でいちばんやかましい音 □意見とその理由を聞き取ろう ☆熟語の構成を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見が分かりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成を考えて書きます。 ・古文の冒頭を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知ります。
	4. 書き手の意図を考えながら新聞を読もう ・新聞記事を読み比べよう □立場を明確にして書こう □古文を声に出して読んでみよう	<ul style="list-style-type: none"> ○点画のつながり<旅> ○筆順と字形<必要>
後 期	☆詩と俳句を味わおう ・水のこころ・山のあなた・俳句 □パネル討論をしよう □資料を読んで考えたことを書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・情景や心情を思い浮かべながら、詩や俳句を声に出して読み味わいます。 ・自分の立場を明確にして、相手の意図を考えながら話し合います。 ・資料を生かして、自分の考えたことが伝わるように書きます。
	5. 物語のおもしろさを考えて読み味わおう ・注文の多い料理店 □ふしぎな世界へ出かけよう □意味をそえる言葉に目を向けよう	<ul style="list-style-type: none"> ・構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わいます。 ・構成を考えて、場面の情景が伝わるように表現を工夫しながら筋道の通った物語を書きます。 ・程度や限定、強調を表す言葉の働きや使い方を理解し、文のニュアンスをとらえます。 ・題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を読み取ります。 ・内容や目的に合わせて、効果的な発表方法を工夫します。
	6. 森林について興味を持ったことを調べよう ・森林のおくりもの 7. ふさわしい方法を選んで発表しよう □気持ちを伝える言葉について考えよう ☆敬語を適切に使おう 8. 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう ・大造じいさんとがん	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の種類や役割を知り、適切な使い方を理解します。 ・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げます。
	○文字の大きさ<山道> ○用紙と文字の大きさ<花さく町>	○点画のつながり<きずな>
期	□古文に親しもう 9. 活動したことを伝える文章を書こう ・伝えよう、委員会活動 □わたしの「とっておきの一枚」 10. メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう ・テレビとの付き合い方 11. 人間の生き方をえがいた伝記を読もう ・手塚治虫	<ul style="list-style-type: none"> ・古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ります。 ・目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書きます。 ・組み立てを工夫して話し、話し手の思いをとらえながら聞きます。 ・例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、読み取ったことをもとに自分の考えを書きます。 ・伝記を読み、人物の考えや生き方について考えます。
	○書きぞめをしよう<出発・新春の光>	○まとめ<星ふる夜>